

富士見町60年のあゆみ

平成22年～26年(2010年～2014年)
〈最終回〉

◎ 平成22年(2010年)

- 4～ 諏訪大社御柱祭ならびに小宮祭が開催される
- 4・1 富士見中学校の開校
- 4・28 「八ヶ岳観光圏」認定
- 7・23 共同アンテナショップ「ポンテ」オープン
- 11・12 消防ポンプ操法大会全国大会出場 第1分団

◎ 平成23年(2011年)

- 4 南中学校跡地に企業が進出
- 4 病児・病後児保育事業の開始

◎ 平成24年(2012年)

- 3 落合小学校が140年の歴史に幕
- 4 小規模多機能施設「一本松の家」オープン
- 10 日本学校農業クラブ全国大会 プロジェクト発表の部で、富士見高校養蜂部「最優秀賞」「文部科学大臣賞」受賞

◎ 平成25年(2013年)

- 4・1 八ヶ岳観光圏がブランド観光圏に指定される
- 7・13 川崎市友好締結20周年記念事業
- 8・4 県消防ポンプ操法大会(ポンプ自動車の部)第1分団 優勝
- 8・11 町長選挙 小林一彦氏当選(2期目)

◎ 平成26年(2014年)

- 6・7 第65回長野県植樹祭「ふるさとの森づくり 県民のつどい」富士見町にて開催
- 11・8 消防ポンプ操法大会全国大会出場 第1分団(準優勝(第4位))
- 11 図書館貸出数16年連続日本一を達成(年間)
- 12・21 富士見駅開駅110周年



▲小宮御柱祭(若宮区)



▲落合小学校閉校式



▲富士見高校養蜂部



▲操法全国大会準優勝(第1分団)

姉妹町 西伊豆だより

時間限定“海の道”歩いてみませんか?

「トンボロ」という言葉をご存知ですか?

普段は海で隔てられている陸地と島が、干潮時に干上がった海底でつながる自然現象のことで、世界遺産に登録されているフランスのモン・サン=ミッシェルでも見ることができます。

西伊豆町の堂ヶ島にある瀬浜海岸では、トンボロにより対岸の三四郎島に歩いて渡ることができます。3月～9月上旬の干潮時の数時間しか現れない時間限定的現象です。海に沈んでいた道を歩くと、ヤドカリやウニなどさまざまな海の生き物を観察することができるスポットで、子どもより大人が夢中になることもあります。暖くなるこれからの季節には、海の道を渡るため毎年多くの方がトンボロを訪れます。

また昨年の11月には、同じ現象を見ることができる台湾の澎湖県にある奎壁山地質公園と堂ヶ島公園が友好公園の締結をし、今後観光客の受入れなどを行う予定です。

皆さんも、潮位表をチェックして、是非一度ご家族で訪れてみてはいかがでしょうか。

【問合せ】西伊豆町観光協会 ☎0558-52-1268

<http://nishizu-kankou.com/topics/2013/01/000422.php>



▲“海の道”を歩く人たち



▲普段は海で隔てられています

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。